

■コメント

1. 麻しん

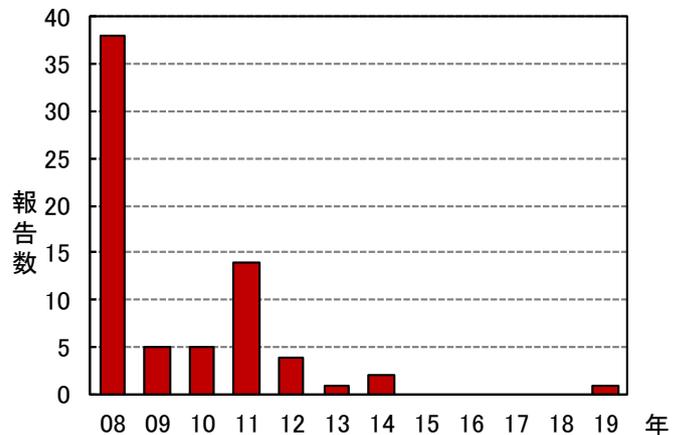
広島市で、2014年以來となる麻しん患者の報告が1件ありました。

麻しんは非常に感染力が強く、空気感染・飛沫感染・接触感染によって感染します。感染すると多くの場合約10日～12日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、熱が2～3日続いた後、39度以上の高熱と発疹が出現します。また、高熱が続き、肺炎や脳炎を併発する等、重症化する場合があります。

麻しんが疑われる症状がでた場合は、事前に医療機関に連絡の上、医療機関の指示に従い受診してください。(次頁参照)

麻しんの年間報告数の推移

※2019年は第1週～第22週



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.15		小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.64				前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
小児科	咽頭結膜熱	13	0.57	0.75	↘	小児科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.14				前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68	2.96	3.58	↔	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03				ほとんど増減なし
	感染性胃腸炎	180	7.83	7.58	↔	眼科	流行性角結膜炎	2	0.25	0.79				
	水痘	6	0.26	0.63		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	32	1.39	1.78	↘		無菌性髄膜炎	-	-	0.06				
	伝染性紅斑	4	0.17	0.23			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.11				
	突発性発しん	14	0.61	0.51			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	21	0.91	0.77	↑	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.43	0.31					

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	68	男性(80歳代)
4	レジオネラ症	1	7	男性(60歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	6	男性(40歳代)・感染者
5	梅毒	4	38	女性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・2人、男性(60歳代)・推定感染地域: 国外・1人
5	百日咳	1	27	男性(10歳未満)
5	麻しん	1	1	男性(30歳代)・推定感染地域: 国外

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎	
			第18週	24	1	11	20	5	5	1	1	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-
第19週	16	10	43	103	4	6	8	7	-	-	6	5	1	1	-	-	-	-	-	3	
第20週	7	16	58	135	4	11	9	7	5	8	5	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
第21週	5	21	69	175	13	27	9	8	10	4	7	1	2	-	-	-	-	-	-	1	
第22週	-	13	68	180	6	32	4	14	21	4	4	-	2	-	-	-	-	1	-	3	
定点当たり	広島市	第18週	1.14	0.08	0.85	1.54	0.38	0.38	0.08	0.08	-	-	0.46	-	1.00	-	-	-	-	-	0.71
		第19週	0.44	0.43	1.87	4.48	0.17	0.26	0.35	0.30	-	0.26	0.22	0.13	0.13	-	-	-	-	-	0.43
		第20週	0.19	0.70	2.52	5.87	0.17	0.48	0.39	0.30	0.22	0.35	0.22	-	0.13	-	-	-	0.14	-	-
		第21週	0.14	0.91	3.00	7.61	0.57	1.17	0.39	0.35	0.43	0.17	0.30	0.13	0.25	-	-	-	-	-	0.14
		第22週	-	0.57	2.96	7.83	0.26	1.39	0.17	0.61	0.91	0.17	0.17	-	0.25	-	-	-	0.14	-	0.43
全国	第20週	0.92	0.42	2.86	7.00	0.30	0.96	0.91	0.47	0.19	0.10	0.27	0.01	0.60	0.02	0.02	0.13	-	-	0.60	
	第21週	0.62	0.64	2.66	6.63	0.45	1.54	0.82	0.54	0.31	0.12	0.32	0.01	0.57	0.02	0.02	0.10	-	-	0.50	

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の発疹性疾患	発熱 発疹 リンパ節腫脹 舌炎	1	男	2019/04/20	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB5型
その他の発疹性疾患	発熱 発疹	0	男	2019/04/24	咽頭拭い液	ヒトホカウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★麻しん(はしか)、風しんの予防接種を受けましょう!

全国において、麻しん患者の報告が続いており、2019年の報告数は、第21週現在で566件と、昨年の年間報告数279件(3月4日現在の暫定値)を大きく上回っています。

麻しんは感染力が強く、空気感染するため、手洗い、マスクのみで予防はできません。予防接種が最も有効な予防法です。

麻しん、風しんの定期予防接種(無料)の1期は1歳のときに、2期は小学校入学前年の1年間に受けることができますので、対象の方は早めに接種しましょう。また、医療・教育関係者や海外渡航を計画している方も、麻しんの罹患歴や予防接種歴が明らかでない場合は、予防接種を検討しましょう。

【参考】

・麻しんについて(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

・麻しん(はしか)に要注意!(健康推進課)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1298598729846/index.html>

・麻しん(はしか)風しんの予防接種を受けましょう!(健康推進課)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1204083272907/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第22週(5月27日~6月2日)